オンリーワン旅行商品の造成進める

北海道支部連合会
新しい組織発足

桑島繁行会長

まずは日頃からの日本旅行グループ並びに連盟会員の皆さまからの多大なるご協力に心から感謝申し上げます。

昨年は、日本旅行全社を挙げて北海道キャンペーンを実施していただきましたが、経済の停滞や北海道への航空便の減少・機材の縮小などの影響により、残念ながら宿泊販売の拡大には至りませんでした。

そのような状況下において、今年度は北海道ならではの〝食〟素材を改めてクローズアップする商品の拡充を図りますが、誘客活動では、営業推進委員会を発展解消し、日旅連のみならず、Nicと協働できる新しい組織「北海道赤い風船会」を発足し、より効果的・効率的な事業を展開します。

「北海道赤い風船会」では日旅連・Nicの加盟事業者を中心として、地域との密着度をこれまで以上に高め、日常的な観光素材の発掘を継続して行いますが、重点的に行う事業として、拡大傾向にあるインターネット市場へのアプローチやインバウンド誘致を掲げています。

本当の満足と楽しみを満喫できる癒しの王国を目指して、再出発します。ご期待ください。

東北支部連合会
販売支援に重点

菅野豊会長

昨年は、アメリカから勃発した経済不況、世界的なインフルエンザ発祥等があり販売に苦慮いたしましたが、宿泊券および団体獲得支援、現地研修および誘客キャラバン、訪日委員会の他団体との連携による台湾セミナー等各種事業について株式会社日本旅行、本部、支部および会員各位のご協力に心から御礼申し上げます。

さて、平成22年度の東北は、新会社「日本旅行東北」スタートの年であり、東北新幹線、青森延伸の開業年でもあります。

重点事業は「販売支援」であり、団体および宿泊券販売支援をいたしてまいります。団体支援については、昨年の獲得支援事業をさらに深耕し、東北へ送客しやすい体制を整えたいと思います。

教育旅行では青森新幹線開業に伴う北海道地区の動向調査と誘客キャラバンの実施、獲得および問い合わせが増加傾向にある九州・関西地区への事業も計画いたしてまいります。

宿泊券販売支援については、昨年、ICT事業本部・赤い風船事業部のご協力を頂いたインターネット商品「利用券プレゼント」が一定の成果を上げることができましたので、さらに強化し、繁忙期のサマー商戦を中心に実施予定でございます。

さらに、地域商品として「定番グルメVS新定番B級グルメ」宿泊プランも、Nic東北本部と連携しインターネット商品「宿ぷらざ」にて展開予定でございます。

訪日関連では、中国個人査証も解禁され、今後さらに訪日客の増加が予想されますので、会社の施策、本部、各行政機関と連携を図り、東北のモデルコースおよび訪れてほしい企画を作成し、「上海万博」と連動させ商談会およびキャラバンを実施予定でございます。

これらの事業は、Nic東北本部、東北日修会と共同で実施し営業推進委員会が中心となり知恵を出し合い地域の特色を前面に打ち出した商品造成など事業展開の推進を強力に進めてまいります。

本年は、新会社・「日本旅行東北」が設立されます。新会社・仕入・支店・支部の連携を強化し地域密着を前面に打ち出した事業を展開し、新会社へも全面的に支援協力いたしてまいります。

ここ数年入り込み減少中ですが、東北への入り込み増に努力いたしてまいりますので各種事業、商品設定、顧客紹介運動等関係各位のご一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。仮称「Ren Cup In 東北」も9月に開催予定され、東北が主幹でございます。Ren Cup 委員会も設立し準備を整え、東北らしさを演出し盛大に開催いたしますので多数のご参加をお待ち申し上げます。

長野支部連合会
DCで需要創出

齊藤茂行会長

不透明な景気動向のなか、春の諏訪御柱祭、秋の信州デスティネーションキャンペーン（DC）を控え、県内業界関係者の間で淡い期待感が漂っています。しかし、過去の実績が示すとおり一過性のイベントで本来の地域活性化は望めません。そこで、イベントを利用しながら地域の観光素材に磨きを掛け、持続的な成長をいかに成し遂げるかが課題となってきます。

また長期的成長分野としてインバウンドに期待が掛かりますが、分母がまだ小さく起爆剤の役目を果たすに至っていません。現状打破に向け、会員ホームページへのリンケージによる外国人用予約代行システム導入を契機に、一挙に実績につなげられれば幸いです。

今話題の信州DCなどあらゆるトピックスを長野県ならではの魅力「豊かな自然」「温泉」「健康・長寿」をキーワードとした新たな観光需要の掘り起こしに活用します。MICE、スポーツ交流、学生の農村体験や勉強合宿の適地開発、また先日の総会で実際に地産食材と地酒のマリアージュ（コンビネーション）を参加者に味わっていただいた「信州食道楽・酒道楽」などテーマ性のある商品開発を通じた新たな切り口での需要創出に向け、北信、東信、中信、諏訪4支部でビジョンを共有し着実に取り組んでいきたいと思います。

関東支部連合会
団体誘致拡大へ

千葉俊隆会長

日頃より関東支部連合会の事業活動にご尽力いただいております関係者の皆さまにこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の事業は比類のない厳しい環境をふまえ、日本旅行の事業計画と確たる施策連動のもとに活動を推進してまいります。

同時に、これまでの事業方針である「選択」と「集中」をさらに進化させ、より効率化と実利優先の取り組みにより宿泊券増売を目指します。

事業方針

今年度事業は著しいマーケット変化に的確に対応するため、日本旅行の営業方針を基軸として、連合会事業の連動性を図りながら、お客さまのニーズ＝マーケットインに基づく施策・行動を具現化するための活動を推進していきます。

今年力を入れること

特に、日本旅行の団体営業強化に呼応して、支部・地区から、新鮮で魅力的な新・団体観光素材、団体プランを積極的に企画提案して誘客に努めます。

そのため、支部営業推進委員会の団体誘致活動を強化して「連合会からの送客」と「支部・地区での誘客」の両事業一体化により活力を高めます。

具体的な取り組み

今年度重点事業として―

①当該営業本部が実施する地域キャンペーン。

「栃木（2～4月）」、「山梨（5～7月）」、「群馬（9～11月）」のキャンペーンに対し受地支部が協働して誘客活動に取り組みます。

②団体誘客拡大に向け、「関東麺紀行」、地元の「団体企画プラン」、MICE・エコツアー等観光・業務・教育旅行用「新・団体旅行素材」の企画・情報の提供・提案、セールス担当者交流会など誘致を積極的に進めます。

③赤い風船の販売強化のため、支部・地区での企画会議への参画、地区専用商品の造成、販売店へのキャラバン、現地研修会など企画・販売支援を一層強化します。

④日本旅行の優れた販売チャネルを最大限活用するため、引き続き観光素材や旅行情報の提供に力を入れてまいります。

中でも、〝赤い風船「WebコレクションJ」〟、〝宿ぷらざ〟などインターネットの販売拡大に向けて、積極的に活動します。

営業推進委員会

これらの事業活動を推進するための中心的な役割である営業推進委員会では正副委員長、支部代表委員で構成される連合会の支部代表者会議において、情報の共有化と推進事項の一体化を図っていきます。

なお、主たる活動である、「第7回ワークショップ」は団体の拡大に向けての直結的な事業とするため、セールスマン大会と連携して年初に開催することにいたしました。

また、団体強化を第一義としたセールスマンとの商談会に改編いたします。

むすび

当連合会では今年度、上述の事業計画を推進するため、日本旅行と会員、会員相互が一層の連帯をして、着実に行動することで現下状況をチャンスに変えていきたいと考えております。

新潟支部連合会
誘客事業を拡大

浅野謙一会長

平素は、日旅連事業に対して、会員各位より多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

2009年度は、NHK大河ドラマ「天地人」の主人公兼続の〝義〟と〝愛〟の精神を育てた新潟の風土・心・文化・食をテーマにした商品展開、また10月～12月では〝食〟をテーマとしたJR6社が中心になり「新潟（新潟・佐渡・庄内）デスティネーションキャンペーン」の開催、それぞれで株式会社日本旅行、本部、支部および会員各位の皆さまにご協力を賜り心から御礼申し上げます。特に団体臨時列車を仕立ててのご送客には、重ねて御礼申し上げます。

さて、本年度は、昨年度と違い話題性が乏しく厳しい状況ではありますが、「新潟県の魅力」を域内・域外に発信しさらなる深度化を図り誘客に努めてまいります。

新潟県としては、2010年10月～12月に、JR東日本の重点販売地域に新潟県（庄内エリアを含む）が指定されたことにより、昨年に引き続き官民連携による観光キャンペーンを展開いたします。キャッチコピーは「うまさぎっしり新潟」。新潟県が誇る「食の美味さ」のほか、彫刻・金属加工などの「匠の巧さ」や、質の高いホスピタリティを提供する「おもてなしの上手さ」など、様々な『うまさ』をぎっしり詰め込んだ「新潟の魅力」を提供してまいります。

当支部連合会では【新潟への誘客事業】を重点事業として取り組んでまいります。

①日本旅行の〝団体販売強化施策〟と連動して、「新潟への入り込み団体支援」とし、団体獲得のための支援をいたします。

②宿泊券販売の拡大として、昨年秋に新潟デスティネーションキャンペーンで展開した地域の観光素材のブラッシュアップを推進し、さらに魅力ある観光企画の創出に向けた取り組みを強化いたします。そしてその地域観光素材は、「着地型商品」への活用と造成、ならびに「インターネット専用商品」や「宿ぷらざ」への展開も並行して行ってまいります。

③宣伝活動として、各種イベントへの積極的な取り組みやその支援協力を行います。また国内の主要なエリアへの販売促進活動を行ってまいります。

④訪日誘客事業として、支部連合会内に「インバウンド委員会」を立ち上げ、近隣アジア諸国（特に中国）からのお客さまを誘客するべく、現地旅行会社に対し「新潟の魅力」（米・酒・魚・スキー）をアピールしてまいります。

これらの様々な事業展開は、日旅連のみならずNic新潟地区会と共同で取り組んでまいります。また、県をはじめとした地域行政との連携が必要であり、さらなる連携強化をしてまいりたいと考えております。本年も関係各位の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部支部連合会
営推活動を拡充

寺田順三郎会長

昨年の総会において連合会長を仰せつかりました寺田でございます。さて昨年より当連合会では従前の5支部を廃止し支部活動の代わりに拡充した営業推進委員が各地区の情報収集、交流、販促活動等にあたり各地区と連合会の連携や連合会事業の推進を図ってまいりました。こうした新たな体制の中で今年度も下記の事業を展開してまいります。

「営業推進委員会」活動の拡充

各地域の幹事支店長を含めて拡充された委員による活動やそれに伴う会議の充実を行い、各地域の会員を通じてより充実した地域情報収集と日本旅行との連携強化とこれらを基にした新たな企画商品の提案や日本旅行からの提案への協力を推進し、旅行券の販売拡充を図ってまいります。

また、営業推進委員が主体となり行われている中部営業本部の幹部会議やスクラム会などの研修会の受入の実働部隊としてより充実した活動を図ります。

地域キャンペーンおよび地域PR活動並びに支部宣伝活動

連合会総会後の懇親会において、優秀セールスマンを含めた日本旅行の社員を招いて日旅連会員と営業推進委員による5地域のブースを開設し、営業推進委員による各地域の特色ある施設やイベント活動を案内し、また各地域の特産料理や名産、名品の提供、さらには今年度日旅の推進テーマのひとつの地元「B級グルメ」を新たに加えて提供し、日本旅行社員との情報交換を併せ持った場として懇親会を進め、今後の旅行券の増売につなげる。

日本旅行への販売協力

「国内研修旅行」の実施。

研修としての新たな観光地や旅の発見とともに、日旅連会員相互の親睦と日本旅行への販売協力を併せ持って実施する。

「中部元気大会」（海外研修旅行）の実施。

昨年の研修地台湾では訪日誘致の商談会を兼ねて行い、88名の多数の参加を頂きましたので、できれば今年度も外客（インバウンド）誘致を兼ねての実施を行い、新たな旅館券増売対策の柱のひとつとする。

「顧客紹介運動」の推進。

日本旅行への顧客紹介を各施設に呼びかけて推進を図る。

その他

旅連本部事業の関連として、さらなるB級グルメ」の発掘と充実を行っての「宿ぷらざ」の増売協力と連覇を目指す「REN－CUP」への参加などなど。

以上本年度の主眼とする事業を掲げましたが、本年度もまだまだ厳しい環境には変わりありません、しかし厳しければ厳しいほど日旅連と日本旅行とがより強固なタッグを組んで邁進したいと考えておりますので、ぜひ皆さま方からの絶大なご支援ご協力を心からお願いいたします。

hana@hanajyukai.co.jp　TEL.087（861）5580　http://www.hanajyukai.co.jp
〒760-0004　香川県高松市西宝町3丁目5番10号

月替り懐石料理「千姫御膳」特選献立
～栃木県産特選食材～
●とちぎ和牛 ●中禅寺湖産姫鱒 ●海老屋御膳湯波
●あさの豚 ●とちおとめ ●栃木県産地場野菜（白美人ねぎ等）

月替わり懐石料理の宿　花衣の館 日光千姫物語
〒321-1432 栃木県日光市安川町6-48　TEL.0288(54)1010　http://www.senhime.co.jp/

源泉 ご婦人源泉露天風呂「夕映え」　殿方露天風呂「朝凪」　源泉 露天風 貸切源泉のゆ「まる」
“晶子の愛し湯” 源泉
瀬波温泉を訪れた歌人・与謝野晶子は、景色の美しさに感動して一日で45種もの歌を詠んだとか…そんな晶子に由来する足湯が“晶子の愛し湯”です。
当館ご利用以外の方にも無料でご利用いただけます。
新潟県／瀬波温泉　政府登録国際観光旅館（登録1346号）
夕映えの宿 汐美荘
予約専用ダイヤル TEL.0254（53）5858
〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2丁目9番36号
TEL.0254（53）4288（代）FAX.0254（52）5285
インターネットホームページアドレス▶http://www.shiomiso.co.jp

会社とともに新しい観光素材を開発

日旅連12支部連合会の事業計画

日旅連の12支部連合会会長に、それぞれの今年度事業計画をアンケート形式で聞いた（①連合会、支部事業で、今年特に力を入れていること②地域キャンペーンの展開について③連合会、支部の特別企画商品について④連合会、支部の宣伝活動について⑤各種委員会の活動について⑥日本旅行に要望すること⑦傘下の会員に要望すること⑧その他）。

北陸支部連合会
素材発掘を継続

八木眞一郎会長

昨年は、世界規模の金融危機の影響や新型インフルエンザの流行で、年間を通して大変厳しい年でした。

そうした中で、北陸新幹線が平成26年度中の開業予定（金沢まで）であることを見据え、北陸各地で万全の受入体制を整えるべく動きが活発化しております。

当支部連合会としましても、営業推進委員を中心として広域での地域連携やそれぞれの地域の観光資源の掘り起こし等と情報発信を次により活発に推進してまいります。

ひとつ目は、「当地ならでは」の魅力発信です。各地域の官民一体となって進めている地域活性化事業と連携しながら、これまで推進してまいりました観光素材の発掘・ブラッシュアップと発信（商品化）を継続して深度化してまいります。

2つ目は、誘客拡大および販売促進活動の強化です。地域ならではの魅力をよりたくさんの方に知っていただくべく社員の現地研修やJR3社共同キャンペーン「Japanese Beauty Hokuriku」とも連携しながら「プレゼントキャンペーン」等を実施してまいります。

3つ目は、今後の布石として「インバウンド」への対応から受入体制の充実と誘客活動の展開に加え、日本旅行のインターネット販売への取り組みに協働してまいります。

本年は、連合会のみならず日本旅行クーポン店会北陸支部とも連携しながら、日本旅行を通して、飛躍的に北陸地域の観光が上昇に転ずるよう取り組んでまいります。

中国支部連合会
体で「験」す旅へ

大谷峰一会長

昨年は「秋芳洞開洞100周年記念イベント」や「新広島球場のオープン」があり、世界遺産の「宮島」も史上最高の346万人の来島者で賑わったものの、新型インフルエンザ等で苦戦を強いられた1年でした。本年度も先行き不透明な経済環境下ですが、NHK大河ドラマ「龍馬伝」やJR西日本の「コナンミステリーツアー」等の話題を生かしつつ、「光を観（る）旅」から「体で験（ため）す旅」をメインテーマに事業を推進したいと考えております。関係諸団体および「観光の薩長同盟」等広域の連携をより強化し、観光客誘致に向けて主として下記項目に取り組んでまいりたいと考えております。

「宿泊券増売」の取り組み
①赤風・営本の販売施策に対する協力・協賛と販促実施
②広域の地域連携と誘致キャンペーン（店頭キャンペーン含）の協力・協賛

「体験型観光（新観光素材）の開発・商品化事業」の取り組み
①「体験型観光（新観光素材）開発・商品化事業」への協賛（拡大営業推進委員会）
②「体験型観光（新観光素材）の現地研修」の実施（3月　長門湯本温泉）

「ホスピタリティの向上」の取り組み
①「接客サービスレベルアップ研修」の開催（5月・9月）
②「接客サービスマナー検定」（1級）の定例配布（年4回）

「訪日旅行」の取り組み
①「日旅フェスティバル」を活用した訪日誘致事業の取り組み
②「インバウンド委員会」による「モデルコース」の作成とファムトリップへの協賛

「情報提供」の取り組み
①各種旅行関連情報の定例送付
②「運行所要時間表」（中部以西）の作成・配布

最後に私ども会員施設も「日本旅行の3S（Speed…瞬発力・Smile…笑顔・Soft…柔軟性）」を忘れず、「マーケットイン」をキーワードに着実な取り組みをしてまいりますので、関係各位の一層のご支援をお願い申し上げます。

とりわけ、1月3日より放送開始となった、高知県が舞台となる岩崎弥太郎の視点から描かれた「龍馬伝」は、ヒットメーカーの福田靖氏のオリジナル脚本にて、主役が福山龍馬ということとなり、従来からの龍馬ファンのみならず幅広い層から期待と関心が寄せられており、これらに関連した書籍はもとより他局のTV番組等も過熱な便乗ぶりであります。

そして12月になると、史実に則するように幕末から明治維新へと時代を移し、愛媛県を舞台とするスペシャル大河ドラマ「坂の上の雲」の第2弾が放送されます。

これらを千載一遇のチャンスととらえ、1月16日からは高知県下をパビリオンとした「土佐・龍馬であい博」の開幕、松山市では既存3施設をセットしたお得なチケット販売を手掛けるとともに3月7日には「坂の上の雲スペシャルドラマ館」がオープンいたし、より充実したプランがご提供させていただけることとなっております。

さらに、香川県においては7月19日より10月末までの期間中、風光明媚な瀬戸内の島々をはじめ県下をミュージアムとした「瀬戸内国際芸術祭2010～アートと海を巡る百日間の冒険」が大々的に開幕となり、現代アートの祭典を通じ、従来と異なった旅行のスタイルと感動をご提供いたします。

一方、ドラマやイベント等のブームを通じてお越しいただいたお客さまやその口コミにより、再び四国へ訪れていただくために、各県においては官民が一体となり各地域に育まれたポテンシャルの高い非日常的な素材を組み合わせた着地型商品への取り組みが進められております。

連合会並びに各県支部においては、これらに関連しオリジナル性を高め、さらなる魅力作りに努め、会社と連携いたし施策展開されております「新観光素材」の商品化に向け積極的に対応いたし、ひいては、会社の販売チャンネルと効果的な連動を図り、「会員施設への宿泊券増売」を推進してまいりたく願っております。

四国支部連合会
ブームを生かす

宮村耕資会長

四国は四県各々が独特の文化や歴史を持ち合わせており、食や特産物においても変化に富んだ魅力を数多く育んでおります。

近年では、これら四国の様々な素材をテーマとする映画やドラマが頻繁に製作されており、とりわけ今年は「ドラマチック四国」という呼び名が挙がるほど、昨年9月より放送されておりますます徳島県を舞台とする連続テレビ小説「ウェルかめ」を始め、各地域に縁の深いドラマが目白押しであります。

九州支部連合会
2つの話題軸に

小林喜平太会長

本年度、九州は大きな誘客話題が2つあります。「龍馬伝」を中心とした横のライン。九州新幹線全線開通プレキャンペーンを中心にした縦のライン。この2本のラインを基軸に誘客拡大を図ってまいります。

1月からスタートしたNHK大河ドラマ「龍馬伝」では、九州を横断する龍馬ゆかりの地の観光情報を数多く発信することにより九州への誘客を図ってまいります。

もうひとつが、来年3月に全線開通する九州新幹線です。九州を縦断する各地域の魅力ある商品作りに営業推進委員を中心に日本旅行と行政一体となって「九州新幹線全線開通プレキャンペーン」を展開してまいります。

次に、各種委員会の活動です。近年急拡大しているネットによる宿泊顧客の拡大と訪日観光客への対策を特に推進します。各支部での営業推進委員会を活発に行い、各地域の歴史、文化、自然、産業を再認識し、新しい観光資源の創造と商品化を進めてまいります。

これらの商品を団体企画、赤い風船への提案はもちろんのこと、インターネットサイト「宿ぷらざ」への掲載拡大などネットマーケットへの対策を実施します。また、過去から取り組んでいる中国、台湾、韓国の旅行会社への売り込みを従来の観光情報の発信から一歩進めて、企画書セールスも実施してまいります。

本年は、まだまだ観光を取り巻く環境は厳しいものがあります。こんな時ほど元気を出して連合会がひとつになり、お客さまにご満足していただけるよう会員一同頑張ってまいります。

関西支部連合会
広域コース提案

金子基文会長

当関西支部連合会は近畿2府4県と岡山県、鳥取県、島根県を加えた2府7県、11支部、会員数415施設で構成される連合体です。

当連合会管内の今年の大きなイベントとして「平城遷都1300年祭」が開催されます。

「平城遷都1300年祭」は1年間を通じて奈良県各地で多彩なイベントが展開され、4月24日（土）から11月7日（日）は平城京跡をメイン会場とした各季フェアが展開されます。

合わせてJRグループが実施するデスティネーションキャンペーンが奈良県を舞台に4月1日から6月30日まで展開されます。

また同時期の3月20日（土）から5月30日（日）に「淡路花博2010花みどりフェア」が開催されます。

これにより隣府県にまたがる広域観光コースの提案で他府県への誘客に波及することを期待しています。

昨年は旅行シーズンの秋になっても修学旅行を除いた宿泊客の回復が感じられず、急きょ連合会事業として会員施設の宿泊券の販売に少しでも寄与できるようオフシーズンの昨年12月から本年3月に「館内利用券」を付けた加盟施設専用ネット商品を設定しました。

本年も本部事業と連動しながら当連合会の中核組織の営業推進委員会を中心として「宿泊券増売」を大命題として事業活動を取り組んでまいります。

昨年9月に発足した民主党新政権下でも従来を踏襲して観光庁は観光立国実現を旗頭に5つの目標を掲げ事業展開を計画されています。強力に推進していただきたいものです。

今は我々宿泊施設にとって大変な時期ですが決して悲観になることなく、ひとつひとつの事業に前向きに取り組んでいきますので当連合会へ皆さまのさらなるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

沖縄支部連合会
一丸で営業活動

照屋修興会長

平素は、日旅連沖縄支部連合会の活動に対し、皆さまから多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

平成21年の沖縄観光入域者数は、565万人と前年を7%下回り大変厳しい結果となりました。経済環境を考えますと本年も楽観できない状況が予測されます。当連合会は会員一丸となって良質な危機感を共有し、積極的な営業活動を通して宿泊券増売に邁進してまいります。では、具体的な活動指針を5点ほど申し上げます。

第1に、団体旅行の誘致拡大に取り組んでまいります。近年注目される旅行形態MICE。国内唯一の亜熱帯性気候と豊かな海洋資源を有する沖縄は、MICE旅行最適地と自負しております。日本旅行営業現場の皆さまが、お客さまにご提案するための「沖縄MICE企画・素材」の情報発信を拡大加速させてまいります。昨年、東京大阪で実施いただいた日本旅行顧客向け沖縄誘致MICEセミナーは有効な機会となりました。本年も団体関連部門の皆さまとの連携を深め、その成果拡大に努めてまいります。

第2に、個人旅行の誘致拡大に取り組んでまいります。赤い風船各事業部との連携を重視し、激変する個人需要の取り込み拡大を目指し、マーケットインの発想で旅行商品の開拓に努めてまいります。

第3に、日本旅行研修団の誘致を推進いたします。「百聞は一見に如かず」まず社員の皆さまが、営業に活かせる最新情報を吸収する機会として、その内容の充実に努めてまいります。

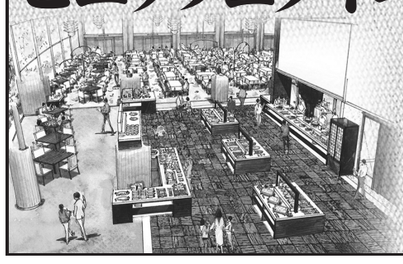
第4に、営業推進委員会・教育旅行部会において機動力のある営業活動に取り組んでまいります。日本旅行営業推進委員会（Nic沖縄）と連携し観光の発展と日本旅行・会員の繁栄に向けて邁進してまいります。なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第5に、「より高い宿泊満足度の提供」に取り組んでまいります。JATA推進の国内宿泊旅行拡大キャンペーン「もう1泊、もう一度（ひとたび）」に沿う上で、お客さまに魅力のある宿泊施設として支持をいただくには、たゆまぬ質の向上がその要と言えます。沖縄ファン（リピーター）の拡大に向け会員一体となり品質向上に努めてまいります。

沖縄にとって、観光産業は地域経済活性化の中軸となります。連合会は、県・観光コンベンションビューロー・沖縄赤い風船会（Nic沖縄）と連携し観光産業行店頭・セールス等部門ごとに効果的な販促キャラバンの実施を目指してまいります。

日旅連総会特集

長崎港の華やかな夜景が素晴らしい。
長崎 稲佐山観光ホテル
長崎市曙町40-23　FAX(095)861-4203
TEL095-861-4151
www.inasayama.co.jp
ikh-info@inasayama.co.jp

ふくしま・磐梯熱海温泉ホテル華の湯　松風館(90室)リフレッシュオープンにつづき、
2010年3月 "食の楽しさ"を追及した
ビュッフェダイニングオープン!!
健康応援! ふくしま応援!

心に届く「脱・旅館料理」の新提案
フードプロデューサー小倉朋子とホテル華の湯総料理長斉藤正大のコラボレーション。食の楽しさを追求したビュッフェダイニングが誕生。コンセプトは「健康応援!ふくしま応援!」です。郷土ふくしまの食材を使用した料理と健康に優しい料理などのメニューをお泊まりにも、日帰りランチにもお楽しみ頂けます。
ふくしま磐梯熱海温泉ホテル 華の湯 HANANOYU
30種類のお風呂で湯舎(ゆや)めぐり
福島県郡山市熱海町熱海五丁目8-60
024-984-2222

梅の間 露天風呂（大和屋別荘）
内玄関（大和屋別荘）
日本の宿 風姿花伝
大和屋本店
〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町20-8
tel(089)935-8880　fax(089)935-8881
http://www.yamatoyahonten.com
代表取締役会長 奥村盛弘　代表取締役社長 奥村武久
俳句の宿
大和屋別荘
〒790-0842 愛媛県松山市道後鷺谷町2-27
tel(089)931-7771　fax(089)931-7775
http://www.yamatoyabesso.com
代表取締役会長 奥村盛弘　代表取締役社長 奥村保樹

日本の湯どころ――のぼりべつ
第一滝本館
予約センター ☎(0143)84-3322
URL；www.takimotokan.co.jp
北海道登別市登別温泉町55番地